

# 3年生

| 教科  | 成果   | 課題  | 重点取り組み   |
|---|--|---|--|
| <p style="text-align: center; font-size: 2em;">国語</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の構成を理解し、自分の力で問いに対する答えを見付けることができるようになった。</li> <li>・説明文の構成を基に、自分も説明する文章を書きたいという思いが育ってきた。</li> <li>・物語文の叙述から、登場人物の気持ちを想像し、書くことができる児童が多い。</li> <li>・中心人物の気持ちの変化を捉えるために、物語全体の場面を見通すことが大切だと理解した児童が増えた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎作文の基本ができていない児童が多い。<br/>(改行、「」、句読点)</li> <li>○読み手を意識して、読み手に分かりやすく文章を書くことができる児童は非常に少ない。自分よがりの文章が多い。</li> <li>◎漢字の定着に時間がかかる。また、前学年の漢字が身に付いていない児童も多い。</li> <li>・一度で内容を全て理解したり、話の要点を聞き取ったりすること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識、目的意識を確認してから文章を書かせるようにする。また、推敲をさせ、客観的に自分の文章を読む力を付けていく。</li> <li>・書く学習過程で段落構成を考えさせ、文章構成メモを作らせた上で文章を書かせるようにする(思考の可視化)。</li> <li>・漢字定着のために、毎日の宿題にしっかりと取り組ませ、文を書く際には習った漢字は積極的に使用していくことを意識させる。</li> </ul> |
| <p style="text-align: center; font-size: 2em;">社会</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の周りだけではなく、区内の様子にも興味をもって授業に取り組んでいる。</li> <li>・区内の地図から問われていることを読み取る際に、地図記号や八方位などを確認することの良さを感じとり、興味をもって取り組む児童が多い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から問われていることを見付け出して表現する力が弱いこと。</li> <li>◎自分の考えを表現する際に、根拠を示して分かりやすく文章にする力が不十分であること。</li> <li>・区内の各地域の特徴や特色の理解が不十分であること。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料などから問われていることを読み取る機会を多くつくり、ノートやワークシートに記録する習慣を身に付けさせる。</li> <li>・自分の意見に必ず根拠をもって発言できるように、話型やワークシートを用いるなどして指導していく。</li> <li>・区内の特徴的な建造物や名所、行事などと関連付けながら指導する。</li> </ul>                                    |
| <p style="text-align: center; font-size: 2em;">算数</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算技能を身に付けている児童が多い。</li> <li>・授業で学習した基礎的な計算や内容は、繰り返し授業で解くこともあり、身に付いている児童が多い。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎文章問題で質問に正対する答え方で、かつ正しい単位を付けて答える力が弱い。(特に余りのあるわり算)</li> <li>・問題の解き方を文章(言葉)で説明する力が弱い。</li> <li>・問題の解き方を考える際、解法を考え、図や式で表すこと。</li> <li>・かけ算九九が定着していない児童がいる。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題を扱う時、問題文を音読して問われた内容を丁寧に確認し、図式化する力を身に付けさせる。</li> <li>・解き方を一人ひとり考えた後、説明の仕方が上手な児童を紹介するなど例示をしていく。</li> <li>・導入で九九フラッシュを行ったり、隙間時間に九九を言わせたりする。</li> </ul>  |

|    |   |  |  |
|----|---|--|--|
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の過程で変化したことや、結果から分かったことを考えることができる。</li> <li>・「ゴムや風の力」、「音のふしぎ」の実験には意欲的に取り組む児童が多い。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験を重ね、実験・観察の技能の向上を図ること。</li> </ul> <p>◎実験や観察で分かったことを、根拠を明らかにして考えたり、文章に表したりすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物や昆虫の観察を継続的に行うこと。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの実験や体験の活動を取り入れるとともに、一人ひとりが実験や観察に携われるような方法を工夫する。</li> <li>・問題に対する予想や見通しを立てて、実験や観察に取り組ませる。</li> <li>・植物や昆虫の観察をデジタル記録していくこと。</li> </ul>   |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーを演奏したり、歌って表現したり、音楽をつくったりすることに意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・曲想の変化や特徴を捉えて、言語で伝えたり音楽で表現したりすることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の演奏する楽器の音を聴きながら、よりよい音を目指して演奏の仕方を工夫することが難しい。</li> </ul> <p>◎歌唱では、曲想に応じて声の出し方や表現が変わることは気付いているが、技能が身に付いていない。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏の仕方を工夫することによって、楽器の音色や響きが変わることに、演奏を通して気付けるようにする。</li> <li>・児童一人一人の声の特徴を生かしながら、力んで声帯を締め付けずに、曲想に合った自然な歌声で歌うことができるようにする。</li> </ul>  |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話をよく聞き、楽しく活動に取り組める児童が多い。</li> <li>・新しい表現や材料などに興味をもち、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手先の不器用さが見られたり、自分の思いを形にするのに時間がかかったりする児童がいる。</li> </ul> <p>◎発想をふくらませることについて、個人差が大きい。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作に戸惑っている児童には個別で指導・支援をし、肯定的な声掛けをして意欲を高める。</li> <li>・製作途中に相互鑑賞の機会を設け、互いの工夫のよさを自分の表現に生かせるようにする。</li> </ul>   |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに向かって、努力を重ねて頑張ろうとする児童が多い。</li> <li>・約束を守って、安全に運動することができる。</li> </ul>                                     | <p>◎何を意識すれば、技能を高められるのかを考えながら運動をすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識をもっている運動領域にも粘り強く取り組む力の育成。</li> <li>・運動技能の習得に差が見られること。</li> <li>・体力が不十分であること。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組む運動のコツがつかめるような学習資料を提示したり、動画をとって動きを確認する機会を多く設けたりする。</li> <li>・運動の楽しさを感じられるように取り組ませることで課題を解決できるようにする。</li> <li>・休み時間なども体力づくりの場として活用できるような遊びを提案するなど、運動する機会を増やして体力づくりを意識させる。</li> </ul> |